



文化財マップ

合川区の

合川区の文化財

合川区は、北側に筑後川が流れ、南東の高良山から延びた低台地上に広がっており、この台地上には多くの文化財が残されています。

人々が住み始めたのは今から約7500年前のことで、縄文時代早期頃に東合川町の上遺跡や市ノ上の市ノ上北屋敷遺跡などから、土器や石器が出土しています。その後も、湧き水が豊富な朝妻町から東合川町付近には、縄文時代後期まで多くの遺跡が発見されています。

弥生時代には、市ノ上に墓塚や石棺墓からなる墓地が広がり、枝光付近には大規模な集落が営まれていたことが分かっています。

市ノ上東屋敷遺跡からは、古墳時代初め頃の豪族居宅と考えられる方形の区画が発見されています。校区の南東部にある福聚寺古墳群は、合川区で僅かに残る古墳の一つで、久留米市内で初めて柳葉形の銅鏃が出土しています。

飛鳥～平安時代には古代の役所である筑後国府が置かれ、筑後国の政治・文化・交通・軍事などの中心地として栄えました。これまでの発掘調査によって、中心施設である政庁が3度移転したことや、役人の屋敷跡、工房、文字が書かれた土器、輸入陶磁器など貴重な資料がたくさん発見されています。

江戸時代に入ると、正徳4年(1714)に久留米藩6代藩主有馬則維によって朝妻焼窯が開かれています。

合川区の人々は、筑後川の恵みを受けて生活してきました。しかし、一方で、たびたび起こる洪水の被害は深刻でした。人々は、洪水の際の避難用として家の納屋や母屋などの土間や天井に舟底を上にして木架に掛けて備えました。

合川小学校に残るあげ舟は、昭和28年(1953)の洪水時に実際に児童の避難に使われたもので、校区の人々の水との戦いを物語る貴重な資料です。



▲筑後国府跡が広がる枝光付近

久留米市市民文化財保護課 文化財についてのお問い合わせ先》
 久留米市市民文化財保護課 文化財保護課
 久留米市城南町15-3 (市役所 12階)
 電話 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714
 E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp
 久留米市埋蔵文化財センター
 久留米市諏訪野町1830-6(えーるピア久留米敷地内)
 電話 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045
 <表紙>筑後国府跡が広がる
 枝光付近(西上空から)
 発行:久留米市
 編集:市民文化財保護課
 印刷:香和印刷株式会社
 平成26年3月31日

時代	西暦	合川区のできごと	日本のできごと
旧石器時代	20000		狩りや漁労・採集等で生活
縄文時代	10000	朝妻町付近に人が生活 西小路遺跡に集落ができる	土器や石矢を使い始める 日本列島がほぼ出来上がる 稲作が伝わる
弥生時代	紀元前 紀元後		
古墳時代	300	大林・古遺跡に大集落 市ノ上東屋敷遺跡に豪族居宅 福聚寺古墳群が営まれる	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳が造られ始める 磐井の乱(527)、仏教伝来(538)
飛鳥時代	600	筑紫大地震起きる(678)	乙巳の変(645) 白村江の戦い(663) 平城京に都を遷す(710) 平安京に都を遷す(794) 鎌倉幕府の成立(1190頃) 室町幕府の成立(1336) 応仁の乱(1467)
奈良時代		筑後国府が設置される	
平安時代			
鎌倉時代	1200		
室町時代	1300	市ノ上の十一面観音板碑が 作られる	江戸幕府の成立(1603) 明治維新(1868)
江戸時代	1600		
明治時代	1800	朝妻焼窯が始まる	

■合川区の歴史年表

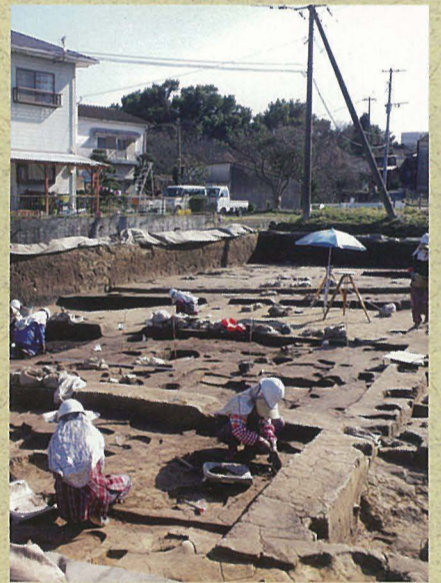
国指定史跡 筑後国府跡

今から1300年ほど前、現在の合川町一帯には筑後国を治める役所が設置されました。それが筑後国府です。昭和36年(1961)から現在まで継続して調査が行われています。

その結果、政治を執り行う中心施設である政庁が3回遷り変わったことや、周囲にはさまざまな役所、役人の住まいである国司館、工房などが広がっていたことなどがしだいに明らかになってきています。

また、中国やイスラム地方からもたらされた珍しい陶磁器、近畿や東海地方で作られた土器、文字・記号などが書かれた土器、硯、鉄製品など様々な種類の貴重な遺物も出土しています。これらの品々からは、当時の役人の仕事ぶりや交易の広がりがうかがえます。

遺跡の重要性から、平成8年(1996)に国の史跡に指定されました。



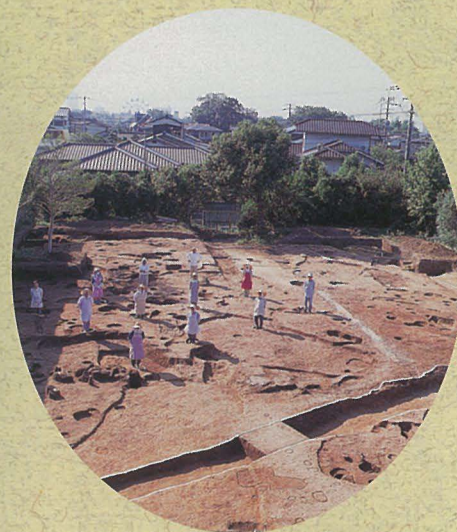
▲筑後国府跡の調査の様子



▲筑後国府跡の施設

県指定史跡 市ノ上東屋敷遺跡

市民球場の南側に広がる市ノ上台地には、縄文時代から江戸時代に至るまで長い間人々が生活した痕跡が見つかっています。市ノ上東屋敷遺跡では、古墳時代の初め頃の大きな溝で囲まれた方形の区画が発見されました。豪族居館または儀式を行う場所と考えられています。



▲市ノ上東屋敷遺跡全景